

令和4年度第3回運営推進会議 グループホーム暖らん

開催日時：令和4年11月30日（水曜）15時30分～（ZOOMによるオンライン会議）

出席者

地区代表者，出雲市高齢者福祉課，高齢者あんしん支援センター，星隆会理事長，暖らん管理者

1. 利用状況（11月30日現在）を報告した

（ア）現入居者 8名（定員9名）

① 年齢別

| | 男 | 女 |
|------|---|---|
| 80歳代 | 0 | 1 |
| 90歳代 | 1 | 6 |

② 要介護度別

| | 男 | 女 |
|------|---|---|
| 要介護1 | 0 | 1 |
| 要介護2 | 1 | 2 |
| 要介護3 | 0 | 3 |
| 要介護4 | 0 | 0 |
| 要介護5 | 0 | 1 |

（おひとり入院されています）

2. 10月から11月にかけての行事、活動など「暖らん便り」no.19をもとに報告した

3. 外部評価について経過、計画を報告した

今年度は松江の外部評価団体「しまね介護ネット」に委託して実施します。今月はじめに家族へのサービス評価アンケートが実施されています。

今後、事業所内で職員による評価を行い、3月に評価員と対面しての評価を予定しています。結果は委員のみなさま、出雲市にご報告し、4月にホームページなどで公表されます。

4. 訪問看護ステーションとの連携と重度化への対応について状況を報告した

8月に近隣の訪問看護ステーション「グロー」と業務委託により訪問看護師による訪問等の連携が始まりました。週1回の定期訪問の他、電話相談、臨時訪問などによって、医療面での手厚い対応が可能になっています。一方、職員会では重度化への対応方針、看取りなどについての研修を行っています。

5. その他の報告

10月以降、ご利用者、職員の新型コロナウイルス感染は確認されていません。ご利用者へのインフルエンザワクチン接種を終えました。近く、コロナワクチンの5回目接種を予定しています。

<委員からの質問やご意見>

質問；重度化への対応について職員研修を行なっているとのことだが、どのような研修か

9月には、他のグループホームでの看取りを経験した職員から、どのような経過があったか、職員はどのような対応を行なったか、などについて報告を行なった。10月には、重度化への対応としての訪問看護ステーションとの連携、重度化対応方針の策定、看取りに向けての職員の心構え、看取りケアの方法・技術を深めてゆく必要性、ACPに基づき日頃のご利用者の言葉、仕草などからの気づきをケア記録にこまめに記録してゆくこと、など話し合った。

質問：訪問看護ステーションとの業務委託の開始は、職員に看護職がないことによるのか

確かに看護職の不在は一つの理由だが、看護職がいなくとも看取りへの取り組みは必要であり、不可能でないという認識があった。体調不良により入院した後、退院時に職員の不安もあったため、本人、家族、職員が安心して生活し、それを支援してゆくために導入した。

以 上